

滝川市では、今後、以下に示すような住民が多様なライフスタイルを実現できる都市づくりを目指します。

ゆとり居住ゾーン

- 比較的広い敷地で、低層の建物が多く、ゆとりをもって暮らすことのできる環境です。
- バスなどの公共交通が利用しやすく、車と公共交通の両方を活用して便利に暮らすことができます。
- 周辺の農村環境を守りながら、幹線道路などの交通利便性を活かして都市の活力を作り出します。

にぎわい居住ゾーン

- 店舗、病院、市役所等の行政施設などの生活利便施設が集まり、中心市街地のにぎわいを感じられます。
- 高齢者等が歩いて便利に暮らせます。
- 都市の中心的な場所として、多くの人々が交流し、様々な活動を生み出すことにより、都市の活力を作り出します。



農村保全ゾーン 田園地域)

- 都市の貴重な緑化資源として守り続ける地域であるとともに、公害や災害の防止にも役立て、農業を営む環境として豊かな環境を守ります。
- 農業を営む住民が、車を利用して生活できる環境を整えます。
- 豊かな農村環境を活かして都市の活力を作り出します。

農村居住ゾーン 準田園地域)

- 豊かな農村環境を守りながら、その環境に調和した生活環境を形成します。
- 幹線道路などの交通利便性を活かして、車と公共交通の両方を活用して暮らすことができます。
- 豊かな農村環境を活かして都市の活力を作り出します。



コンパクト居住ゾーン

- 今後、バスなどの公共交通ルートを中心として、中高層の建物やスーパーなどの生活利便施設の立地を進め、生活利便性を向上させます。
- 公共交通と徒歩により、便利に暮らすことができます。
- 既に整備されている施設や道路などを活かし、都市の活力を作りだします。



※凡例 にぎわい居住ゾーン コンパクト居住ゾーン ゆとり居住ゾーン 農村居住ゾーン 農村保全ゾーン	行政区域 都市計画区域 主要幹線道路 都市幹線道路 補助幹線道路	北阿蘇経費自動車道
---	---	------------------

